

## 平成31年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ネクシィーズグループ

コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年9月期第1四半期の連結業績（平成30年10月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年9月期第1四半期	3,968	3.1	410	16.5	461	31.6	132	△83.1
30年9月期第1四半期	3,847	2.0	352	△21.6	350	△22.1	787	254.1

(注) 包括利益 31年9月期第1四半期 123百万円 (△84.2%) 30年9月期第1四半期 780百万円 (197.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年9月期第1四半期	10.50	10.05
30年9月期第1四半期	62.67	59.76

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年9月期第1四半期	13,007	8,262	53.5	549.36
30年9月期	14,422	8,570	48.8	556.37

(参考) 自己資本 31年9月期第1四半期 6,958百万円 30年9月期 7,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年9月期	—	—	—	—	—
31年9月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年9月期の連結業績予想（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	9.6	2,000	3.9	2,000	3.0	1,500	△21.6	118.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年9月期1Q	13,413,640株	30年9月期	13,413,640株
② 期末自己株式数	31年9月期1Q	746,771株	30年9月期	750,771株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年9月期1Q	12,665,516株	30年9月期1Q	12,572,357株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業業績が好調に推移し、雇用・所得環境も改善傾向にありました。一方で、米中貿易摩擦の激化による世界経済への影響が懸念され、株式市場も下落基調に転じるなど、先行き不透明な状況が続いております。GDPの伸び率は、平成30年7月～9月に0.6%減となりました。消費者物価指数(生鮮食品は除く)は、前年同月比0.7%～1.0%の間で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、主力サービスであるLED照明等の設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の設備を導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」(以下、「ネクシィーズ・ゼロ」)に注力しております。特に、業容の拡大に合わせて、拠点や組織体制の整備を進めると同時に、商材の拡充による事業領域の拡張を図っております。

これらの結果、売上高3,968百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益410百万円(前年同四半期比16.5%増)、経常利益461百万円(前年同四半期比31.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円(前年同四半期比83.1%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来の「エネルギー環境関連事業」の名称を「ネクシィーズ・ゼロ事業」に変更しております。

## [ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」及び「ネクシィーズ電力」の提供、利用者獲得業務及びLED照明等の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力サービスである「ネクシィーズ・ゼロ」に注力し、法人や個人事業主、自治体等に向けてLED照明、空調、業務用冷蔵庫などの提供に努めたことで、引き続き受注が増加しております。一方で、営業人員の増員に向けて拠点の移転や拡張を進めております。

これらの結果、ネクシィーズ・ゼロ事業は、売上高3,230百万円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント利益571百万円(前年同四半期比23.8%減)となりました。

## [電子メディア事業]

電子メディア事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、電子雑誌業務で他社で休刊していた紙のゴルフ雑誌「Double Eagle(ダブルイーグル)」を当社グループの電子雑誌技術を活用して復刊する、新たな取り組みを実施いたしました。また、地方自治体とのタイアップ誌を新たに3誌発行いたしました。ソリューション業務では、ECサポートサービスに加えてWEBサイト制作業務も増加し、引き続き好調に推移しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高737百万円(前年同四半期比5.2%増)、セグメント利益87百万円(前年同四半期セグメント損失113百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,007百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,415百万円の減少となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は9,794百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,563百万円の減少となりました。これは主に、子会社株式取得等により現金及び預金が1,403百万円、未収入金が144百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定資産)

固定資産は3,213百万円となり、前連結会計年度末に比べて148百万円の増加となりました。これは主に、株式の売却に伴い投資有価証券が171百万円、繰延税金資産が80百万円それぞれ減少した一方で、子会社株式取得によりの特許が240百万円、建設仮勘定が200百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は3,277百万円となり、前連結会計年度末に比べて954百万円の減少となりました。これは主に、納税により未払法人税等が465百万円、賞与の支給に伴い業績連動賞与引当金が200百万円、そのほか買掛金が196百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,467百万円となり、前連結会計年度末に比べて152百万円の減少となりました。これは主に長期借入金(1年内返済予定を除く)が151百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は8,262百万円となり、前連結会計年度末に比べて308百万円の減少となりました。主な内訳は、非支配株主持分が222百万円、剰余金の配当実施等により利益剰余金が57百万円、その他有価証券評価差額金が43百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年11月14日公表の「平成30年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[ネクシィーズ・ゼロ事業]

ネクシィーズ・ゼロ事業では、「ネクシィーズ・ゼロ」の提供に注力し、今後も引き続き人員の増員を行ってまいります。また、毎年的人员増員に伴い拠点が手狭となっているため、各支店の増床・移転にも着手してまいります。新規顧客の開拓については既存顧客からの紹介に加えて、金融機関等の提携先からの紹介も活用していくことで、幅広い顧客の開拓に向けた営業活動も積極的に行ってまいります。

また、LED照明以外の商材も充実させることで多様な顧客のニーズに対応していくと同時に、既存顧客に追加提供することで売上高の増加を図ってまいります。

[電子メディア事業]

電子雑誌業務については、営業人員の増員や、主力雑誌である「旅色」の媒体力を高めることで、広告掲載料の増加を目指してまいります。また、地方自治体や企業とのタイアップにより雑誌点数を増加させ制作受託料の増加を目指してまいります。

ソリューション業務については、EC市場の拡大を背景に「ブランジスタ物流」をはじめとする「ECサポートサービス」の業務受託料の増加を目指してまいります。また、台湾でのEC事業支援にも注力してまいります。

平成31年9月期 通期連結業績見通し (平成30年10月1日～平成31年9月30日)

売上高 18,500百万円

営業利益 2,000百万円

経常利益 2,000百万円

親会社株主に帰属する当期純利益 1,500百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,221	4,818
受取手形及び売掛金	2,965	2,895
リース債権	1,633	1,572
商品	190	255
未収入金	344	199
その他	321	430
貸倒引当金	△319	△377
流動資産合計	11,358	9,794
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	605	613
工具、器具及び備品（純額）	81	96
その他（純額）	52	248
有形固定資産合計	738	959
<b>無形固定資産</b>		
のれん	24	265
ソフトウェア	92	87
無形固定資産合計	117	353
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	688	516
敷金及び保証金	331	346
繰延税金資産	676	596
その他	549	485
貸倒引当金	△37	△45
投資その他の資産合計	2,208	1,901
<b>固定資産合計</b>	3,064	3,213
<b>資産合計</b>	14,422	13,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,238	1,042
短期借入金	730	750
1年内返済予定の長期借入金	362	362
未払金	439	388
未払法人税等	544	78
解約調整引当金	127	160
業績連動賞与引当金	311	111
その他	477	383
流動負債合計	4,231	3,277
固定負債		
長期借入金	1,410	1,258
その他	209	208
固定負債合計	1,619	1,467
負債合計	5,851	4,745
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,189	1,189
資本剰余金	330	341
利益剰余金	6,140	6,083
自己株式	△710	△707
株主資本合計	6,949	6,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	52
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	95	52
新株予約権	9	9
非支配株主持分	1,516	1,294
純資産合計	8,570	8,262
負債純資産合計	14,422	13,007



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)
売上高	3,847	3,968
売上原価	1,943	1,969
売上総利益	1,903	1,999
販売費及び一般管理費	1,551	1,588
営業利益	352	410
営業外収益		
受取利息	0	0
投資有価証券売却益	—	61
その他	0	4
営業外収益合計	0	66
営業外費用		
支払利息	2	2
保険解約損	—	4
貸倒引当金繰入額	—	8
その他	0	0
営業外費用合計	2	15
経常利益	350	461
特別利益		
関係会社株式売却益	685	—
特別利益合計	685	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	9
関係会社株式評価損	3	—
合意解約金	—	40
契約精算損	—	96
特別損失合計	3	146
税金等調整前四半期純利益	1,032	314
法人税、住民税及び事業税	82	49
法人税等調整額	166	98
法人税等合計	249	147
四半期純利益	783	166
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	787	132

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	783	166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△43
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	△3	△43
四半期包括利益	780	123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	89
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシーズ・ゼロ事業	電子メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,146	700	3,847	3,847	—	3,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	0	△0	—
計	3,146	701	3,847	3,847	△0	3,847
セグメント利益又は損失(△)	749	△113	636	636	△283	352

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△283百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年10月1日至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ネクシィーズ・ゼロ事業	電子メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,230	737	3,968	3,968	—	3,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	0	△0	—
計	3,230	737	3,968	3,968	△0	3,968
セグメント利益	571	87	659	659	△248	410

(注) 1. セグメント利益の調整額△248百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「エネルギー環境関連事業」としていた報告セグメントの名称を「ネクシィーズ・ゼロ事業」に変更しております。なお、この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の報告セグメントの名称で記載しております。